

みなさまの「まきやすい!」のために。  
粉立ち抑えた根こぶ病防除剤

土壤殺菌剤

ネビリュウ®

フルスルファミド粉粒剤

より簡単!さらに均一!



ネビリュウ



従来品

●有効成分：フルスルファミド………0.30%

●人畜毒性：普通物\*

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 特長

1. 浮遊を抑えた製剤\*なので、粉立ち、ドリフトが少なく、取扱いが容易です。
2. 荷姿がコンパクトなので、持ち運びや移送が容易になりました。
3. キャベツ、はくさい等の根こぶ病に、ネビジン®粉剤と同等の防除効果を発揮します。

※浮遊性指数値(数値の大きい方が浮遊しやすい):ネビリュウ0.0~0.2、A粉剤1.9~20.0 参考値:粉剤50前後、DL粉剤≤15

## ■適用病害及び使用方法

2022年2月9日現在の登録内容

作物名	適用病害名	10アール当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルスルファミドを含む 農薬の総使用回数
キャベツ	根こぶ病	20kg	定植前	2回以内	作条土壤混和	2回以内
はくさい		20~30kg	は種又は定植前		全面土壤混和	
ブロッコリー		20kg	定植前	1回	作条土壤混和	1回
		20~30kg	は種又は定植前		全面土壤混和	
カリフラワー		20~30kg	定植前		作条土壤混和	
		20kg			全面土壤混和	
かぶ 非結球あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイを除く)		30kg	は種前		作条土壤混和	
		20kg			全面土壤混和	
チンゲンサイ		20~30kg	20kg	作条土壤混和		
		20kg		全面土壤混和		

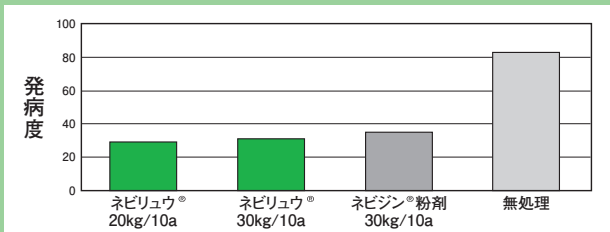
## ■上手な使い方

- ① 砕土および土壌混和はていねいに行ってください。
- ② 植穴処理は薬害が生じる恐れがありますので避けてください。
- ③ 土壌混和の深さは、10~15cmが適当です。
- ④ 根こぶ病防除の場合、石灰との併用は効果を安定化します。
- ⑤ 根こぶ病に感染している苗を移植すると効果が劣りますので、必ず根こぶ病に感染していない健全な苗を移植してください。

## ■試験成績

キャベツ根こぶ病

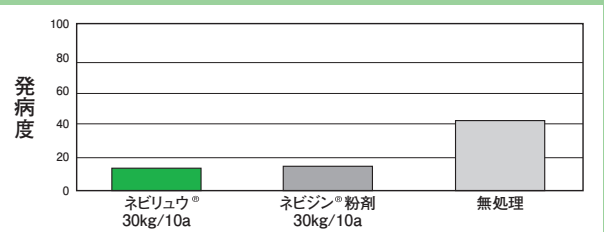
2008年 山口県農林総合技術センター



- 発生状況：甚発生 ●品種：初秋
- 区制：1区12株植、条間40cm、株間35cm、2条植、3連制
- 播種：7月20日 ●定植：8月6日
- 処理：定植直前に、所定量を土壌に散布した後、軽く全面を混和。
- 調査：10月15日(定植70日後)に全株を対象に根こぶ着生状況を調査。着生率により発病度を算出。

はくさい根こぶ病

2007年 長野県野菜花き試験場佐久支場



- 発生状況：中発生 ●品種：優黄
- 区制：1区72株、畝幅50cm、株間45cm、3連制
- 播種：5月15日
- 定植：6月15日
- 処理：定植4日前に、所定量を全面土壌混和。
- 調査：8月2日(結球期後半)に各区30株について発病度を算出。

## △効果・薬害等の注意

- 本剤の所定量を作条または全面に散布し、土壌とよく混和した後、は種または定植してください。
- 本剤の作条土壌混和を行う際は、本剤の所定量を畦上全面に散布し、土壌中に均一に分布するようによく混和してください。
- みずかけなを使用する場合、水掛け開始は薬剤処理後2ヵ月以降を厳守してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

## △安全使用上の注意

- 誤食などのないように注意してください。
- 本剤による中毒(痙攣)の治療法としては動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の担当を受けてください。皮膚や眼にかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の担当を受けてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。本印刷物は2022年2月9日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。